

## 各単組精一杯の労使交渉を展開し

# 2013年春季闘争終結!



2013年春闘シンポジウム



連合2013春季生活闘争・闘争開始宣言 2.6中央総決起集会

2013年春季闘争は、経済・社会や産業・企業実態等のとりまく環境を踏まえるなかで、「労働者の雇用の安定・確保と生活維持・向上」を基本に取り組んできました。2月19日の要求提出以降、3回の交渉を経るなかで、春闘終盤においては山場対策に基づき最大限の交渉を行った結果、3月末までにすべての単組が集約となり、産業別統一闘争のもと一定の役割が果たし得たものと判断します。各単組役員の方々に敬意を表すとともに、中央執行部に対するご協力に深く感謝を申し上げます。

## JEWU 2013年春闘を振り返って

### 金属労協の見解 (3月13日正午) について

- ・賃金は「これまでに回答を引き出した、すべての組合で賃金構造維持分を確保することができた。また、1組合が賃金改善を獲得した。このことは、勤労者全体の賃金の下支えに寄与し、デフレの進行に歯止めをかける観点から、金属労協として一定の役割を果たしたものと受け止める」
- ・一時金については、「企業業績のバラツキを反映し、昨年を上回る回答を引き出す組合が9組合、昨年と同水準の組合が1組合、昨年を下回る水準の組合が10組合となった。いずれも、各組合が組合員の協力・努力を粘り強く訴え、精一杯の交渉のなかから引き出した結果と受け止める」
- ・企業内最低賃金については、「現時点で12組合が水準の引き上げを獲得している。非正規労働者の賃金の底上げにも寄与するものであり、労働組合の社会的責任の一端を果たすことができたと思う」としています。

2面へ続く



# 最大限の努力を尽くし全単組が集約に至る!

## 全電線の取り組みについて

要求提出以降、産業別統一闘争のもと、各単組の交渉状況に応じた取り組みを進めるなか、春闘終盤においても労使主張に大きな隔たりがあるなかで、極めて厳しい状況を打開すべく、各単組は精力的な交渉を展開し、最大限の努力を行ってきました。

**賃金改善については、** 広がった格差を是正する観点、また、単組において改善すべき課題などから、取り組みを進めるなかで、7単組において賃金原資の増額を図れたことは、中堅・中小の努力を含め、世間動向からみると一定の評価ができるものと判断します。

**年間一時金については、** 電線各社の収益状況は国内需要の低迷、中国経済の鈍化に加え、事業構造改革が進められている厳しい状況のなか、各単組の粘り強い交渉の結果、要求水準からは十分とは言えないながらも、半数以上である22単組で昨年月数以上の確保が図れる結果となりました。また、産別ミニマムを確保する単組についても、昨年より増加したことは、「生活安定につながる水準」という視点からも、前進したと受け止めます。これらのことは各単組が単組状況を的確に捉え、精力的に交渉を進めてきた結果であり、一定の評価が得られるものと判断します。

**その他については、** 60歳以降の雇用確保は、就労希望者全員の雇用確保に加え、一部において処遇改善を確認できたこと、また、退職金、ワーク・ライフ・バランスの実現についても、労働者の立場に立った労働条件の向上に繋がる回答が得られたことなど、一定の前進が図れたものと判断します。

いずれにしましても、各単組が自力・自決体制を強化し、単組の主体性で、組合員の理解が得られるよう各項目において最大限の努力を行い、精一杯の取り組みを行った結果であると確信するとともに、産別として一定の役割を果たし得たものと判断します。

## 最後に

電線業界は銅電線出荷量が4年連続で70万トンの割れの厳しい状況下のもと、欧州債務問題の処理の進捗や米国の「財政の崖」などの要因も加わるとともに、電線産業の足下や先行き懸念があるなかで、長時間に亘り精力的な取り組みを展開された各単組、各役員の方々に心より敬意を表するとともに、中央執行部に対する絶大なご支援、ご協力に深く感謝申し上げます。

## 第23回参议院議員選挙 全電線組織推薦候補

## いし がみ 石上としお さんを応援しよう!



### 『石上としお』さんを国政の場へ送り、 「生活者・勤労者を基盤とした 政策実現」を果たしましょう

組合員の皆さん毎日のお仕事お疲れさまです。  
全電線としましては、昨年の中央委員会において、  
電機連合出身の『石上としお』さんを組織推薦してい

ただき、次期参议院議員選挙に向け、支援活動を行っております。

我々労働組合は、働く者の「生活不安・雇用不安・将来不安」を払拭するため、皆さんの力を結集させ、私たちにとっての政策を実現させることが必要と考えております。

そのためにも、『石上としお』さんに、私たち勤労者の代表として、国政の場へ意見反映を行っていただき、私たちの求める「国民本位の公平で公正な社会」をつくり、そして「生活者・勤労者を基盤とした政策実現」を果たしましょう。

組合員の皆様のご理解とご支援を改めてお願い申し上げます。

全電線中央執行委員長 海老ヶ瀬 豊

### 全電線に集う皆さんへ

全電線の皆さん、第23回参议院議員選挙電機連合組織内公認候補の石上としおでございます。この度は、全電線の組織推薦をいただき誠にありがとうございます。

働く仲間の皆さんとご家族、また働く者すべての仲間が安心して安定した生活を送れる環境をつくるのが、私に課せられた使命だと考えております。皆さんが今、何を求めているのか、しっかりと政治の場に伝えたい。その上で、まじめに働けば普通の生活ができるというあたりまえの世の中をつくりたい、ぜひ全電線に集う皆さんの力で、私にその素晴らしい日本をつくり上げる仕事の一部を担わせていただきたく思います。

微力ではありますが、この日本をさらに元気にし、次の世代に繋げる、そういう運動を皆さんとともに成し遂げる決意でございます。最後までの変わらぬご支援をよろしくお願いたします。

石上としお